

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	総務文教常任委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 山内
日 時	平成29年7月26日(水曜日)		開 議 午後1時30分
			閉 議 午後2時48分
出席委員	◎竹田 ○奥野 三上 田中 山本 小松 福井		
執行機関出席者	木村企画管理部長、田中企画調整課長、小塩企画調整課副課長、 元古企画調整課企画係長、 山本教育部長、和田教育部次長、土岐学校教育課長、谷口学校教育課副課長		
事務局	片岡事務局長、山内事務局次長		
傍聴	可・否	市民 1名	報道関係者 0名 議員 1名(富谷)

## 会 議 の 概 要

1 3 : 3 0

### 1 開議

### 2 日程説明

### 3 案件

#### (1) 行政報告

#### ○第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～前期基本計画の総括について (企画管理部)

企画管理部長 あいさつ  
企画調整課長 説明

#### 《質疑》

なし

1 4 : 0 0

#### ○中学校における選択制デリバリー弁当導入事業の取組み状況について (教育部)

#### <教育部長>

昨年度に亀岡市中学校給食のあり方に係る基本方針を策定し、今年度から具体的な取組みを進めている、選択制デリバリー弁当の導入事業について説明させていただきたい。

その前に、今年度の学校施設整備として中学校5校でのエアコン設置、小学校3校でのトイレ改修を実施しているが、その進捗状況について報告させていただく。

中学校5校のエアコン設置については、6月中旬に契約を終え、7月20日が終業式であったので、現在、工事業者に入ってもらい、夏休み中に設置が終えられるような形で進めている。

小学校3校のトイレ改修についても、6月下旬から7月初旬に契約を行い、なんと

か夏休み中に改修ができるような形で、現在、進めているところである。  
それでは、担当課長から、選択制デリバリー弁当の導入事業について、説明させていただくので、よろしく願います。

学校教育課長 説明

## 〈質疑〉

〈山本委員〉

弁当の提供業者として、公募型プロポーザルで（有）ケイフーズを選定されたということだが、他に手をあげられた業者はあったのか。

また、（有）ケイフーズの選定にあたって、決め手となったのは何か。

〈学校教育課長〉

公募型プロポーザルに参加されたのは、（有）ケイフーズ1社だけであった。

教育委員会の中に、教育長、詳徳中学校長を含む選定委員会を設置し、選定基準を設けて審査を行い、その基準をクリアしたことから、（有）ケイフーズを選定したところである。

〈福井委員〉

弁当の価格は400円ということで、これはすべて消費者の負担になるのか。

〈学校教育課長〉

400円は、そのまま保護者負担となる。

〈福井委員〉

補助はなく、弁当そのものが400円ということでよかったか。

〈学校教育課長〉

そのとおりである。

〈福井委員〉

資料の中に、「万一の事故に備え、十分な対応ができる損害賠償保険に加入する」とあるが、だれが加入するのか。

〈学校教育課長〉

業者である（有）ケイフーズが加入する。

〈福井委員〉

配膳をシルバー人材センターに依頼されるということだが、その経費も含めて、試行のために必要な経費は全体でどれくらいか。

〈学校教育課長〉

今年度の予算としては、664万円程度を措置している。

内訳は、

配膳室の改修工事	335万円
予約システム構築	230万円
電子レンジ購入	3万円
弁当箱購入	4万5千円
配膳員委託	27万円
予約システム保守	64万8千円

となっている。

弁当は400円という価格であり、その中で業者に配膳員の経費まで負担させるのは難しいので、その経費は市の負担としている。

これについては、京田辺市が3年ほど前から実施されており、そこを視察し、状況

も研究する中で、同様の取扱いとさせていただいている。

<三上委員>

Web 端末を持たない家庭への対応はどうか。

<学校教育課長>

先行実施している他市を視察する中で、紙ベースでの申込みはトラブルも起こりやすく、また、希望される方も少ないと認識しており、総合的に判断して、パソコン、スマホ、携帯電話での申込みとさせていただく予定である。

<小松委員>

弁当に牛乳は含まないのか。

<学校教育課長>

弁当のみである。

<小松委員>

牛乳を付けることは考えていないのか。

<学校教育課長>

先行実施している京田辺市では、牛乳の希望もあまりない状況であり、また、経費的なこともあり、今のところ牛乳を付けることは考えていない。

<小松委員>

今のところ、喫食率はどれくらいを見込んでいるのか。

<学校教育課長>

基本的に弁当の持参を9割と見込んでおり、残り1割のうちでどれだけのまれるかということである。

1割のうちで、半分はコンビニ、あるいは家から持ってこられるものと想定しているが、喫食率は最大で10%と見込んでいる。

<小松委員>

配膳はどのようにされるのか。

具体的に説明願う。

<学校教育課長>

配膳については、先生方に負担をかけないように委託での対応を考えている。

2階に配膳室があり、そこまでは業者が持って行き、そこで配膳員に引渡すこととなる。

昼休みに生徒がそこまで弁当を取りに行き、食べ終わったらそこに返却する。

その弁当箱を配膳員が整理して、それを業者が持って帰ることになる。

<福井委員>

詳徳中学校の生徒の数は。

<学校教育課長>

生徒は約300人、先生は約30人となっている。

<田中委員>

食材の調達先は業者と話しているのか。

また、1食あたりのカロリーは。

<学校教育課長>

業者にはできるだけ地元産を使うようお願いし、努力していただくこととしている。

カロリーは、中学生のカロリー基準で、820kcalを目安に献立を作成していただくよう依頼している。

<奥野副委員長>

今年度に詳徳中学校で試行して、今後、他校にも広げていった時に、当然、必要な経費は増えていくこととなると思うが、今年度の経費の内訳を、一覧表にして整理していただきたい。

<学校教育課長>

試行結果を踏まえ、生徒、保護者等の意見も聞きながら、今後どうするのかは考えていきたい。

経費については、一覧表にして整理させていただく。

<奥野副委員長>

(有) ケイフーズは、何年で更新となるのか。

<学校教育課長>

1年更新で考えている。

<奥野副委員長>

詳徳中学校の試行で、喫食率が1割とすれば約30人の申込みが想定されるが、今後、(有) ケイフーズも含めて、業者が入札に参加されないということの危惧はないのか。

<学校教育課長>

そのような危惧もあるが、できるだけ注文率が上がるように、業者とも相談しながら取組んでいきたい。

<福井委員>

先程、詳徳中学校の生徒約300人のうち、1割の30人は弁当を持たない人であるということであったが、その弁当を持たない30人のために、選択制デリバリー弁当を導入するのか。

<学校教育課長>

弁当を持たないと見込まれる生徒30人のためだけでなく、全体の300人の生徒を対象として、急にお弁当が作れなくなった方等も含めて、いろんなケースを想定し、対応できるように実施していきたいと考えている。

<福井委員>

試行であるので、全体の1割の生徒を対象としてスタートしてもよいと思うが、お弁当を持ってこられる生徒があるので、1割の生徒を対象とすればよいという考えを持っておられるのか。

また、弁当代が400円ということだが、他市でもそれぐらいの価格設定となっているのか。

<学校教育課長>

他市の状況では、宇治市が360円、京田辺市が390円となっており、他市との均衡を図るとともに、アンケート結果を踏まえての価格設定となっている。

<三上委員>

アンケート調査では、中学校給食を希望する保護者の割合はどれくらいであったのか。

<学校教育課長>

中学校給食を実施した方がよいと回答した保護者は、57.9%、また、どちらかといえば実施した方がよいと回答した保護者は、25.9%、合わせて83.8%となっている。

<三上委員>

今は弁当を入れているが、給食があればその方がよいという方も多くおられるということを見込んで、配膳室等も考えていかなければならないのではないのか。

また、せっかく実施するのであり、よいものを提供しないと注文率は上がらないのではないか。

<学校教育課長>

業者とも十分調整し、メニューも相談しながら実施していきたい。

<三上委員>

大盛りは米飯だけということだが、容器は同じで、盛り方が違うということになるのか。

<学校教育課長>

そのとおりである。

<三上委員>

藤沢市では、容器そのものに大盛り用があったし、米飯だけでなく、おかずも大盛りができるのが魅力となっていた。

また、毎日ではないが、汁物を付ける努力もされていた。

亀岡市では、汁物は考えていないのか。

<学校教育課長>

汁物までは考えていない。

<田中委員>

事前にメニューがわかっているならば、注文を考えられる方も出てくるように思うが、メニューは事前に利用者に知らせるのか。

<学校教育課長>

予約システムの中で、1カ月前にはメニューが出来るので、それを見て予約してもらうことで考えている。

14:38

(休憩)

14:38～14:45

### 3 その他

(1) 部落解放・人権政策確立要求京都府実行委員会第33回大会への参加について  
竹田委員長参加で決定

(2) 次回の日程について

— 下記のとおり決定 —

日時：8月24日（水） 午後1時30分～

案件：事務事業評価対象事業の選定

※決算特別委員会総務文教分科会

散会 ～14:48